

園名 キッズハーモニー・かなまち

2024年11月13日（水）

【 自然と遊ぶ 】

◎活動のねらい 秋の自然に触れ、創造力、観察力、好奇心を育む



②『みてみて！穴が開いている！顔みたい』
お面になるかな・・・？
『いいねーどお??』

指に入れて、指輪のようにしている子もいた。

『どうして穴が開いているんだろう?』

①『いろんなのいっぱいみつけたよ!』
いろんな色があるね・・・
『そーだよ！みていいよ!!』



③少しずつ場所を変えていくと、ひとりがどんぐりを発見！どんぐりの木はどれだろ?・・・『これじゃない!?!』

【環境をデザインする】

・準備した物

集めた自然物を入れる袋
✓子どもたちが様々な自然を探し、発見が広がるよう、木々の種類が多い公園を選び活動を行った。

【気づき・振り返り】

季節の移り変わりを感じ始めていた幼児クラス。秋の宝を見つけに探検しよう!と、宝探し開始。葉っぱの色の違いに気づいたり、『ツルツル!』『ざらざら!』感触の違いに気づいていた。同じ種類を集めたり、大中小で並べたりする姿もあった。友だちの発見に共感したり、様々な形で自然とのかかわりをより深めることが出来た。

葉の種類に興味を持っていたので、次回の活動につなげ、探求心を満たしてあげたい。



園名 キッズハーモニー・かなまち

2024年11月18日（月）

【 自然と遊ぶ 】

◎活動のねらい 自分でイメージしたものを自由に表現する。



①『何か作りたい！』以前に見た本から創作意欲が芽生えていた。拾い集めた葉を押し葉にした後、製作遊びの環境設定を行った。

②想定したもの以外にも子どもの発想ややりたいことに合わせて、必要な道具や材料を追加。

③『これは、ぜったい桜だな！うん』『ツルツルの葉っぱは、どれだろ？』『先生！これとこれは一緒かな？』
・・・どれどれ？数人がのぞき込みながら探る姿もあった。

【環境をデザインする】

・準備したもの

落ち葉の押し葉・どんぐり・紙類・ペン類・テープ類・スズラン・毛糸・廃材等

【気づき・振り返り】

ケーキやプリンセス等完成をイメージしてから作り始める子。気になった、葉っぱや廃材から作りながらイメージを広げていく子。『テープでこうつきたい！』『くつつかないな、なんでもかな？』素材同士に相性があることや、くつつく道具は多種あることに気づいたり、考えたりする姿が見られた。子どもの『やりたい！』をさりげなく援助したり、ヒントを与えて自らが答えを導き出せるようなかわりを心掛けることで、充実感あふれる活動となった。



③活動報告や展示で保護者にも取り組みを共有。『これ、わたしがつくったんだよ！』『もういっこ作ってもいい？』

【 自然と遊ぶ 】

◎活動のねらい 冬の自然（霜柱）をみつけ、触れたり観察する



『さむっ、先生！何度？
・・・5℃か！』



②『冷たい！！』
『本で見たやつだ』
『マイナスになると氷が出来るんだよね？』そうなのかな？『溶けても冷たいよ！黒くなった』



①『小学校の方で霜柱を見つけたよ！』
気温が一段と下がってきた2月上旬、子どもから発見情報が。『いきたい！いきたい！』みんなで行ってみよう！『どこどこ？』日の当たらないところを探してみよう・・・
『あったー！ザクザクいってる！！』



③『大きいのみつけたよー』
『これ、いいやつじゃないの？』
『ここら辺とかありそうじゃない？』日かげの場所、土の盛り上がり方をよく観察しながら、霜柱を見つけて採取した。『折れないようにココをもったらいいかも・・・』



④『溶けたら水になっちゃう☹』
『溶けるのやだ！』『トンネルを通りたい』『日かげをつくろう』前を歩く友だちのかげに隠しながら、持ち帰っている子もいた。

【環境をデザインする】

気温が上がる前の早い時間帯に戸外活動をスタートできるよう計画。冬の気候を数値と併せて感じられるよう温度計を準備した。

・準備したもの

温度計 スプーン スコップ 受け皿
プロジェクター スクリーン 暗幕



⑤『マイナスじゃなかったのにどうやってできたんだろ？』霜柱が出来る様子をスライドで確認。
『育ってるー！！』『アナ雪のお城みたい！！』
『キャー♪』

【気づき・振り返り】

・空気の冷たさ、固くなった地面、霜柱の感触等、五感を使って自然の変化を感じ取っていた子どもたち。手の上に乗せると次第にとけていくこと（氷の性質）や日なたと日かげの違いに気付くことができた。霜柱ってどうやって出来るんだろう？と沸き上がった疑問は、動画視聴で観察することで『なるほど！』の納得と、より不思議さを感じる様子が見られた。『雪の結晶が見たい！』まだまだ冬の自然で知りたいことがたくさん様子。
新たな環境デザインを工夫していきたい。